

海外事務所だより

ソウル事務所

# お客さんを呼び込む自治体ブース運営とは？ ～釜山国際観光展に出展して～

(財)自治体国際化協会ソウル事務所所長補佐 塚本 敦(秋田県派遣)

## 釜山国際観光展の現場に見る 自治体PR

2012年9月7日(金)から10日(月)まで、韓国釜山市のBEXCO(釜山展示・コンベンションセンター)において、「第15回釜山国際観光展(BITF)」が開催され、私たちクレアソウル事務所もブースを出展しました。会期中、私たちは日本の観光宣伝に努めるのみならず、出展した多くの自治体の皆さんと、どうすればお客さんに注目してもらえるブースになるのか意見交換をしました。多くの来場者が訪れる中、人気を呼ぶブースもあれば比較的苦戦しているブースもあったからです。

期間中を通じて最も強く感じたのは、韓国のお客さんはただ漫然と見に来ているのではなく、具体的な情報を求めて来ているのだということ



観光展が開催されたBEXCO。巨大な会場です

です。従ってせっかく出展するのなら、地域の観光PRだけではなく、より実用的な情報を用意する必要があります。釜山は九州に近いという土地柄、長崎県や福岡県に船で安く行くことができるため、韓国人観光客に人気です(後述のクレア実施アンケート調査結果参照)。従って来場者の多くは九州への訪問経験があり、常に比較していると考えられます。また、せっかくいい情報を持っていても、お客さんに見てもらわなければ意味がありません。見ってもらうためにはまず足を止めてもらうこと、そしてお客さんに実用的な情報を与えるようなブース運営を心掛けねばなりません。

### ①韓国語ポスターとパンフレットは必須

興味を持ってもらうための窓口として、韓国語版ポスターとパンフレットは必須です。具体的な質問に答えることができるよう、通訳を配置すると一層効果的なPRをすることができます。地域の観光情報に精通した韓国人国際交流員を帯同するのが効果的です。

### ②イベントでお客様の足を止めよう

韓国のお客さんは参加型イベントが大好きです。ゲームや抽選会、試飲、試食でお客様の足を止めましょう。浴衣の試着も人気があります。アンケートを実施するのもいいでしょう。せっかく足を止めてくれたお客さんにはちょっとしたもので構いませんからお土産をあげましょう。そし

て観光地の説明をしましょう。きっと熱心に聞いてくれるはずです。

### ③交通情報を提供しよう

韓国人が日本の地名を聞いてどこにあるのかすぐイメージできるのは東京、大阪、京都、北海道。釜山のお客さんならそれに加えて長崎、福岡、対馬くらいです。自分たちがPRしたい観光地が日本のどこにあるのか、目で見えてわかるよう交通情報を提供しましょう。その際、韓国から週何便飛行機が飛んでいるのか、いくらなのか、そして日本国内移動のためのモデルプランを、料金を示しながら見せられればなお効果的です。

また訪日観光客の視点に立ち、一か所滞在型よりも、広域的に連携して、複数観光地を回るモデルプランを提案してみてもいかがでしょうか。この場合も具体的な交通情報は必須です。

### ④九州と比較されている

釜山観光展では土地柄、九州への訪問経験のある人が多いです。クレアが会場で実施したアンケート調査（後述）でも訪問経験で福岡や長崎が上位に来ています。釜山からの九州旅行は船で安く行くことができるのです。最近では釜山から対馬への日帰り旅行も人気で、非常に安価な価格設定がなされています。そのため九州旅行の経験がある韓国のお客さんは、九州に比べてどの程度の価格で行けるのか、どんな違いがあるのか、常に比較していると考えべきでしょう。



にぎわう釜山国際観光博の会場の様子

### ⑤どんな楽しいことがあるのか情報収集と情報提供をしよう

当然と思われるかも知れませんが、観光客は楽しむために日本を訪ねるのです。韓国人は食事、温泉の他にゴルフや登山などのアクティビティも好む傾向にあります。観光展は売り込みの場であると同時に、情報収集の場でもあります。韓国人がどんな日本旅行を好むのかアンケートなどで傾向を把握しましょう。そして自分の自治体がどんな楽しさを提供できるのかPRしましょう。最近ではスマートフォンの無料アプリケーションで情報を提供する自治体も出てきています。来場者の中には放射能が心配だと言う方も依然としていらっしゃいましたが、韓国では以前に比べ報道も下火になってきており、根拠のない不安は薄れてきているように思われます。安全性の担保も重要ですが、「楽しさ」、「面白さ」といった明るい情報を発信していきましょう。

#### ■釜山国際観光展概要

- ・ 期日：2012年9月7日(金)～10日(月)
- ・ 会場：韓国釜山市のBEXCO  
(釜山展示・コンベンションセンター)
- ・ 参加者：世界37か国234業者430ブース。  
うち日本から21団体。  
来場者9万1千人
- ・ 会期中は国内外の民族公演や、ワールドフードフェスティバル等が実施された。

#### ■出展に関するお問い合わせ

出展に興味がある方は、以下へお問い合わせください。

○クレアソウル事務所 所長補佐 塚本敦

e-mail:tsukamoto@clair.or.kr

電話：82-2-733-5681

○次回の釜山国際観光展情報：

2013年9月6日(金)～9日(月)。

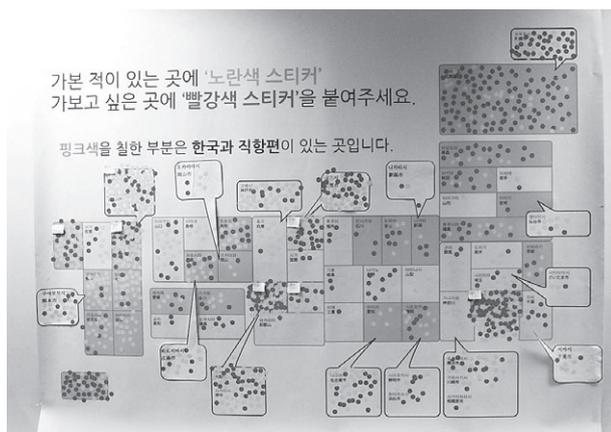
2012年度と同じBEXCOで開催されます。

## クレアが実施した アンケート調査の結果

私たちクレアソウル事務所は、独自にブースを構え、日本の自治体からご提供いただいたパンフレットの配布と、日本のどの地域に関心があるのかについてのアンケート調査を実施しました。ブースの前を通りかかる来場者にアンケートをお願いし、記念品を贈呈したうえで、日本地図上の「行ったことがある自治体」と、「行ってみたい自治体」にシールを貼っていただきました（自治体は、都道府県と政令指定都市）。その結果は以下のとおりです。

行ったことがある自治体 (915票中)			行ってみたい自治体 (661票中)		
1位	東京都	74	1位	北海道	106
2位	大阪府	69	2位	東京都	71
3位	福岡市	64	3位	大阪府	46
4位	福岡県	56	4位	沖縄県	34
5位	長崎県	48	4位	札幌市	34
6位	北九州市	42	6位	京都市	27
7位	京都府	39	7位	京都府	22
8位	神戸市	36	8位	大阪市	21
9位	京都市	32	9位	福岡県	20
10位	大阪市	30	9位	長崎県	20
14位	北海道	24	11位	名古屋市	19
24位	沖縄県	10	13位	福岡市	15
			23位	北九州市	7

九州は、行ったことがあるランキングでは比較的上位を占めている一方、行ってみたいランキングではそれほど上位には入っていません。北海道については、行ってみたいランキングでは1位でしたが、行ったことがあるランキングでは14位でした。釜山から九州へは距離的に近く、航空機の



完成した「行ったことがある・行ってみたいマップ」



シールを貼るお客さん

みならず船舶での移動も可能で比較的容易に行くことが可能ですが、北海道といえば韓国ではなかなかお目にかかれない雪の大地というイメージが強く、行ってみたいとは思いつつも距離的に遠く、旅行代金が割高になってしまうことが理由として考えられます。

また、行ったことがあるランキングでは下位にある沖縄県についても、行ったことはなくても暖かい沖縄に行ってみたいというあこがれがあるのではないかと推測されます。全体の結果を分析すると、大都市および釜山より離れた気候や風土、歴史などに特色のある地域に魅力を感じていると思われる。

### ■アンケート調査に関するお問い合わせ

調査結果に興味がある方は、以下へお問い合わせください。

○クレアソウル事務所 所長補佐 塚本敦

e-mail: tsukamoto@clair.or.kr

電話：82-2-733-5681

釜山はソウルに比べ日本との直行便が少ないといった交通アクセス上の課題が残るものの、九州との距離的な近さと安く行けるという理由から日本旅行の経験者が多く、その経験をベースにした2回目、3回目の日本旅行リピーター誘致の素地がすでに出来上がっているともいえます。首都圏ばかりではなく釜山においても日本各地の魅力を発信することは重要なことです。このため釜山国際観光展は今後とも情報発信の場として注目していく必要があります。